

事業報告書

平成 29 年度

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

社会福祉法人 わかば

そらのいえ保育園

平成 29 年度そののいえ保育園事業報告書

1. 保育事業報告

保育利用者状況について、幼児クラスでは若干名の欠員が生じたが、1,2 歳児では、常に定員を満たした在園児数を確保した。大田区の待機児童数状況が 3 歳児未満に集中している状況を如実に反映している。また、在園児のほとんどが標準時間利用児であり、延長保育延べ人数と土曜保育利用児の急増からも、長時間保育のニーズが高いことが伺える。今後も長時間保育を念頭においた環境整備や、育児家庭支援の更なる充実が重要と考える。

会計について、運営費単価改定に伴う増額と、障害児保育数の増加から、中長期計画の積立金目標額を達成出来た。今後とも、園児処遇に直接寄与する科目を潤沢に維持しながら、効率化等による削減可能な科目を抽出し、運営の適正化と充実を図るよう努める。

地域支援活動を継続実施した。東京都サービス推進費の再構築による大幅な地域支援活動助成金削減による減収の状況であるが、育児家庭支援の高いニーズと、社会的意義の重要性を鑑み、活動を継続していく。また、地域支援活動利用者が本園の保育理念を理解した上で入園するなど、地域に園の方針や特徴を伝える効果も高いと考えている。

小中学生の職場体験や、保護者の保育体験を実施し、保護者と連携し、地域に開かれた保育活動を実践した。また、職場体験では、職業観の育成やコミュニケーション能力の向上を図る良い機会となった。職員にとっても保育活動の見直しや、職場の活性化にもつなげることが出来た。

保育業務の ICT 化を検討したが、園の保育活動に適応したシステム構築が困難であることから見送りとした。対人コミュニケーションが重要な保育業務の ICT 化導入について、今後継続検討していく。

2. 保育内容

外部講師による体育・絵画・造形・音楽の指導を受けながら、モンテッソーリ教育を取り入れた保育活動をより充実させると共に、日々の保育のなかで子どもの気持ちに常に寄り添う事を心掛けながら保育にあたるよう努めた。モンテッソーリ教育活動委員会を立ち上げ、モンテッソーリ教育の導入方法と、その展開について、検討した。今後の更なる充実に努める。

地域支援活動も兼ねた園行事を実施した。「子どもへの暴力防止プログラム」では講師をお呼びして、小さなお子様を持つご家庭向けの講座を実施した。「秋のイベント」では日本モンテッソーリ協会副会長の天野珠子先生を講師にお呼びして、「子育てのヒント」を豊富な知識とご経験からご講演頂いた。保護者や、地域の子育て家庭、他園の職員と大変多くの参加者となった。そして、子供たちに向けた楽しい音楽会を、講師をお呼びして同時開催した。「高齢者施設との交流会」も通所型デイサービス施設と共同生活介護施設との交流を継続的に行った。また、貴船神社のご協力を得て年長児が栈敷から豆をまく体験をした。地域との交流を図りながら様々な体験を今後も展開する。

春の遠足は雨天のため中止となったが園を昼食会場として開放し、数組の保護者とお弁当を食べながら交流を図った。運動会は大森第三小学校の体育館で開催し、屋内での運動会として、競技種目や、フィールドサイズを見直し、より

子ども達が主体となる、アットホームな運動会を目指した。発表会は、幼児クラスの合奏、合唱、劇の構成とし、音楽の時間を使用し早期に練習開始した事で、子ども達も楽しく練習しながら良い成果があげられた。

縦割り保育活動は、幼児クラスを2クラス、乳児クラスを1クラスで構成した。年長児は年少児を労り、年少児は年長児に憧れ、より良い育ちを促す事ができた。今後は幼児クラスへの移行活動をより早期実施に努める。

3. 保育活動

(1) 保育園の運営

- ・所在地：東京都大田区大森中一丁目14番1号
- ・児童定員：84名
1歳児…10名 2歳児…14名 3歳児…20名
4歳児…20名 5歳児…20名

(2) 開所時間

11時間開所保育時間：午前7時30分から午後6時30分
延長保育時間：午後6時30分から午後7時30分（月～金）

(3) 閉所日

日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）

(3) 職員配置（平成30年3月1日現在）

常勤職員：17名 園長（1）副園長（1）SV（1）保育士（14）事務（1）
非常勤職員：11名 保育士（5）保育補助（5）看護師（1）
嘱託職員：2名 嘱託医（1）嘱託歯科医（1）

(4) 延長保育実利用児童数実績

4月：99人 5月：88人 6月：81人 7月：76人 8月：78人
9月：74人 10月：85人 11月：66人 12月：76人 1月：65人
2月：71人 3月：56人 合計：915人

4. 保護者支援

(1) 保育体験・保護者会

1日保育士として保育体験して頂く事で、集団保育における子どもの様子を知り、園の保育内容の共通認識を図るよう努めた。また、保護者会を通して、園方針への理解を深めた。

(2) 外部機関との連携

要支援児や育児不安家庭の対応について、専門的な支援が必要な場合には行政と相談の上、外部機関の紹介や連携を行った。子どもの育ちに対する、保護者を含めた周りの大人のサポート体制構築に努めた。大田区子ども家庭支援センターや品川児童相談所との連携により、育児困難家庭支援の実施と、わかばの家等との連携により、配慮の要する児童の発達支援を実施した。

(3) 地域支援活動

地域の乳児親子と出産を控えた方を対象とした子育て支援講座、出前保育、異年齢児交流事業、世代間交流事業、職場体験、保育所体験など、地域交流事業に積極的に取り組んだ。子ども達の育ちと、地域の子育て力向上に貢献し、成果を得た。

5. 保健衛生

- ・園児定期健康診断 2回
- ・園児定期歯科健診 1回
- ・職員健康診断 1回
(常勤職員・週労働時間30時間以上の非常勤職員)
- ・職員インフルエンザ予防接種 1回
(常勤職員・週労働時間20時間以上の非常勤職員)
- ・調理員腸内細菌検査 12回
- ・園児身体測定 12回

6. 防災安全

- ・避難訓練 12回
- ・消火訓練 12回
- ・引き取り訓練 1回
- ・通報訓練 5回
- ・移動訓練 1回
- ・交通安全教室 1回
- ・消防署消火訓練 1回
- ・防災設備等の保守点検
- ・消防署への協力、報告
- ・自主点検
- ・法定点検
- ・非常用飲料水、食糧の確保、点検、喫食
- ・防災士による防災対策職員研修
- ・職員による定期的(月2回程度)な災害用伝言ダイヤルの活用訓練
- ・幼児クラス避難用ヘルメットの導入

7. 給食

- ・1～2歳児 午前おやつ、昼食、午後おやつ
- ・3～5歳児 昼食、午後おやつ
- ・延長児 補食
- ・アレルギー児(宗教等家庭的事由含)への除去食対応、代替食対応
- ・食育活動(カレー、クッキー、さんま、植物栽培、食べ方など)

8. 年間行事

- ・計画に基づき、行事を実施した。行事担当者を決め、前年度の振り返りと、保護者アンケートを参考により良い行事運営に努めた。
別紙「年間行事」参照

9. 年間実施会議

- ・職員会議 月1回 園長・SV・副園長・保育士全員・事務
- ・運営会議 月2回 副園長・SV・主任保育士
- ・調整会議 週1回 SV・副園長・主任保育士・クラス代表保育士
- ・クラス会議 週1回 SV・主任保育士・担当保育士

- ・担当者会議 SV・主任保育士・担当保育士
- ・食育会議 月1回 SV・主任保育士・担当保育士・調理員
- ・保護者会 年2回 園長・SV・副園長・職員・保護者
- ・個人面談 年1回 園長・SV・副園長・職員・保護者
- ・保育体験 1人/日限定 保護者希望参観
- ・法人理事会 理事長が召集・理事、監事
- ・大田区私立保育園園長会 年11回 園長

10. 職員育成

保育士としてのスキルアップと、モンテッソーリ教育の専門的知識習得のため多くの職員が自主的取り組みや、研修を通して学びを深めた。特に、上智・東京モンテッソーリ教員養成コース修学の職員数が増加し、保育活動の充実に成果がみられている。その他、園内研修や講演会への参加を通して、全職員に学びの機会が提供できたと考える。自主的研修費用の一部助成制度により、職員が自ら意欲を持って学ぶ環境を提供した。

処遇改善Ⅱの必要要件となる行政が主催する研修への今後の対応や、幼保小連携会議主催研修等、全職員のスキルアップに努めていく。

日本モンテッソーリ協会創立50周年記念学会が東京で開催された。園として学会運営参画と、多くの職員参加により、モンテッソーリ教育への造詣を深め、職員が同じ方向を向いて保育にあたる良い機会となった。

11. 施設整備計画

- ・災害時食料、飲料の確保
- ・植栽整備
- ・園舎の定期清掃
- ・事務所、倉庫、更衣室等賃貸
- ・屋上日除けシート設置

12. 資金収支

「平成 29 年度決算書」参照